

# 一般質問通告書

受領日時 令和5年11月30日 午前10時30分 1番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 馬場目川（本町部）堆積土砂について	(1) 馬場目川（富津内川合流地点から西野橋まで）の雑木伐採、除根、堆積土砂の除去を12月22日まで行うとの回答であったが、この工事範囲の河川兩岸を確認すると、所々に堆積された土砂が残っているが、あれで完了したのか。また、あの状態で7月のような豪雨に耐えられるのか。
2 雨水管整備について	(1) 11月11日付、秋田さきがけ朝刊に「7月の記録的大雨で大規模な浸水被害を受けた内水氾濫対策として磯ノ目地区を中心に貯水機能を持った雨水管を整備する」と、雄物川圏域流域治水協議会の下流圏域分科会で町の担当者が説明したとの記事が掲載された。非常に喜ばしいことである。 貯水機能を持った雨水管となれば、広大な面積が必要と考えるが、磯ノ目地区にその様な土地をどう確保するのか疑問に思う。また、新聞記事には、整備にあたり、本年度から「千年に一度級の雨」を想定した「内水浸水想定区域図」の作成に着手し、この区域を基に雨水管の整備ルートを決定するとあった。 秋田市の八橋、手形、広面地区の浸水軽減対策の排水設備と似た様なものになると思うが、現段階での規模や内容を回答できる範囲で聞きたい。
3 馬場目川治水対策説明会の実施を	(1) 県は「富津内川、内川川治水対策事業説明会」を10月10日、11日は役場正庁で、11月13日と14日には、地域の公民館で行った。 湯ノ又地区浸水対策として、「捷水路（ショートカット）（川のバイパス）」、下山内深掘地区は「輪中堤」を県から提案された。貴重な意見が交わされた説明会は、より良い方向に進むためにも是非とも必要なことと感じる。 馬場目川治水対策に関する説明会の実施を望む。
4 幹線道路に視線誘導標（デリネーター）の設置を	(1) 町道上樋口西野線や町道樋口下樋口線、西野四ツ谷線（西野第一農道）は、各々の町内会や施設から目的地への移動手段として利用頻度の高い町道であると認識している。このような幹線道路に視線誘導標（デリネーター）の設置が必要と考える。 夜間や霧、降雨、降雪時などには視程が十分でなくなる。その時に路側や道路線形を明示し、ドライバーの視線を適切に誘導し、感覚的疲労が少なく快適に運転できるため交通安全に寄与するものと考ええる。 本町は、交通死亡事故ゼロ4千日を達成し11月27日に県と県警から表彰を受けた。県内最長記録日数を持続するためにも是非とも必要と考えるが。